

五月に芳香を放って咲くカラタチの花

小 関 栄

わが家の裏庭に一本のからたち(枳殻、枸橘)の木がある。このからたちには枝や幹にびっしりときつい棘とげがあるので、普段これをイバラの木とって、あまり寄り付かないが、五月になると白秋の詩集のように白い白い可憐な花がさく。しかも甘い香りを放ちながら咲くので近寄り楽しく鑑賞している。(右の写真 5/15)



からたちの花が咲いたよ 白い、白い花が咲いたよ

からたちのとげは痛いよ 青い、青い針のとげだよ

からたちも秋はみのるよ まろい、まろい金の玉だよ (北原白秋詩集より)

名前の由来はミカン科の唐橘(からたちばな)からである。だが同類の日本橘やまとたちばな(通常云っているタチバナ)とは異なる。カラタチも橘も原産は中国だろうが、橘は早くから日本にわたり育てられたので日本が原産という人もある。いずれにしてもカラタチと橘は葉、花、樹皮が微妙に異なるので区分される。(左の写真は橘の花、右はカラタチの花) 尤も



橘を柑橘類として総称してということもある。カラタチは長い棘が特色、よく分枝するので生垣がき(籬)に用いられていて、次の芭蕉ばしやうの句がある。

「うき人をカラタチ籬より潜くぐらせん」



五月には カラタチ花と 茶の香り 淡水

全国報徳団体連絡協議会総会開かれる

5月21日(木)愛知県刈谷市で27年度の定期総会が開催され「学園花の村」からは藤本が出席いたしました。年会費は現行3万円を2万円に減額する案が可決されました。

助成金は小田原報徳実践会が実施する報徳楽校「お台場コース」が承認可決されました。8月3、4日の中桐万里子さんをお招きして実施する美合セミナーに多数の出席要請がありました。◆ 加盟団体は1団体減り10団体となりました。

◆ 意見交換では小田原の報徳実践会からワーカー・コレクティブとの農産物の販売提携の話があり新しい展開であり興味を引きました。

◆ 北海道報徳社からは冊子「協同組合の事業理念は報徳精神にあり」の紹介がありました。これはTPPを押し通そうとする規制改革会議に対抗するものとして北海道報徳社が報徳の立場から、主張したものです。

◆ 相馬の報徳社からはアメリカのアムウェイの資金提供により相馬報徳社の事務所新築がなされたとの報告がありました (藤本記)